

## 2020年度 アセンブリⅡ プロジェクト申請書

プロジェクト	スペシャルオリンピックス日本・愛知”ボウリング”
主な活動場所	<input type="checkbox"/> 学内 <input type="checkbox"/> 病院内 <input checked="" type="checkbox"/> 学外
担当教員	[所属・氏名] <u>医学部・倫理学 佐藤 芳、医学部・微生物学 河合 聡人</u>
内 容	[プロジェクトの概要] スペシャルオリンピックス日本・愛知のボウリングプログラムにボランティアとして参加する。 スペシャルオリンピックス日本・愛知 <a href="http://son-aichi.jp/index.html">http://son-aichi.jp/index.html</a>
	[具体的な活動内容] スペシャルオリンピックスとは、知的障害のある人（アスリート）たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織である。本プロジェクトでは、「ボウリング」のプログラムにボランティアとして参加し、アスリートとの関わりの中で多くのことを学ぶ。
	[活動に参加することで得られるスキル（チームワーク、主体性）] 知的障害のある人（アスリート）との関わりの中で、前に踏み出す力（働きかけ力・実行力）と考え抜く力（課題発見力）が養われていくことを期待する。また、アスリートの考えや行動を理解することによりチームで働く力（傾聴力・状況把握力・柔軟性）を向上することができる。
	[受け入れチーム数] ※ 原則6名以内／1チーム  <u>2</u> チーム 【プロジェクト全体で <u>12</u> 名】
	[活動を予定している時間帯や日付など] <u>ボランティア活動</u> ：スペシャルオリンピックスの予定次第（3～4回の参加を予定、主に日曜日の9時から14時ぐらいまで、2019年度の活動場所は星ヶ丘または鶴舞でした。） <u>チームミーティング</u> ：毎週月曜日のアセンブリ活動時間（14:40～16:10）
[その他] 知的障害についての特別な知識や、ボウリングの経験は特に必要ありません。障害のある方とボウリングを楽しんでくれる学生を募集しますが、知的障害者に対するボランティア活動であることを十分に理解し、藤田医科大学の学生として節度とやさしさ、思いやりを持って障害のある方、あるいはそのご家族の方に接することができる、それが条件です。	